

塔屋の入力方法

文書管理番号：1224-01

Q. 質問

塔屋を入力したい。

A. 回答

塔屋は、小屋裏を設定して入力する方法と、建物の階数を増やして入力（2階建ての場合は3階に入力）する方法があります。

小屋裏で入力した場合、床面積には含まず、壁量チェックでは小屋裏として計算されます。

設定階数を増やして入力した場合は、床面積が考慮されます。

パース表現のみの場合は設定階数を増やして入力する方法でもかまいませんが、壁量チェックなどの計算が必要な場合や床面積を算定しない場合は、小屋裏を使用する方法をおすすめします。

ここでは、以下のような2階建ての物件で、塔屋を入力する方法を説明します。

1、2階の入力手順は省き、小屋裏または3階の入力から説明します。



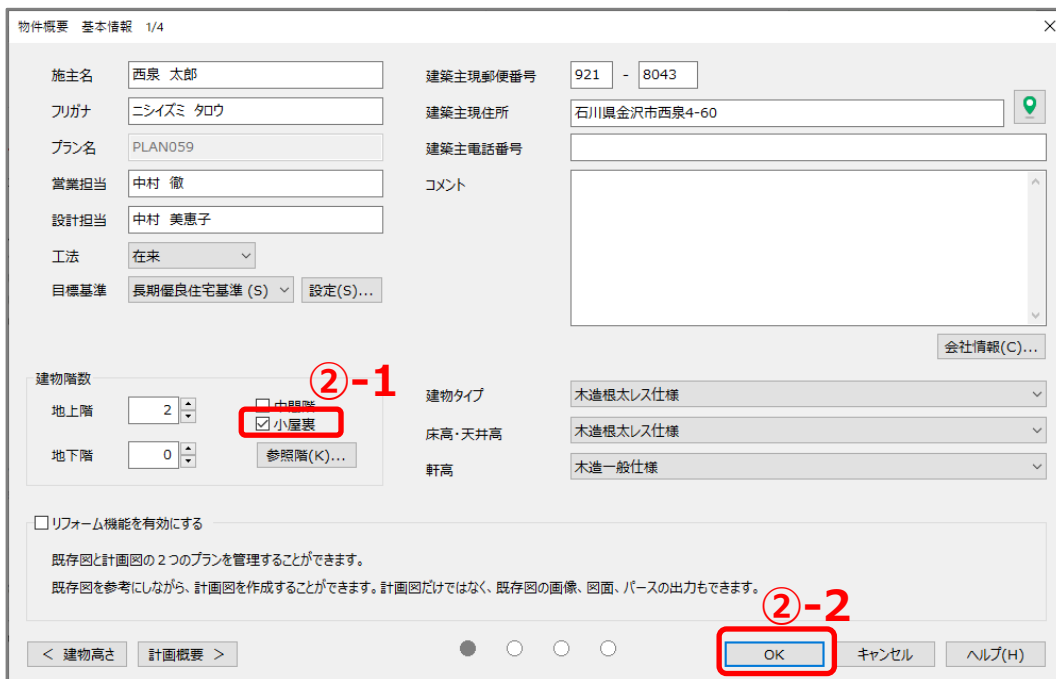
* 間取りは簡略化しています。

操作手順：小屋裏に入力する方法

- 建物階数の設定

①  (クイックメニュー)またはメインメニューから  (物件概要)をクリック

② 建物階数の「小屋裏」にチェックを付け、「OK」をクリック



物件概要 基本情報 1/4

施主名 西泉 太郎 建築主現郵便番号 921 - 8043

フリガナ ニシズミ タロウ 建築主現住所 石川県金沢市西泉4-60

プラン名 PLAN059 建築主電話番号

営業担当 中村 徹 コメント

設計担当 中村 美恵子

工法 在来

目標基準 長期優良住宅基準 (S) 設定(S)...

建物階数

地上階 2

地下階 0

中階裏

小屋裏

参照階(K)...

建物タイプ 木造根太レス仕様

床高・天井高 木造根太レス仕様

軒高 木造一般仕様

リフォーム機能を有効にする


既存図と計画図の2つのプランを管理することができます。

既存図を参考にしながら、計画図を作成することができます。計画図だけではなく、既存図の画像、図面、パースの出力もできます。

< 建物高さ 計画概要 > OK キャンセル ヘルプ(H)

* 設定が反映し、プラン図で「小屋裏」の階層が入力できるようになります。



- 間取りの入力

 (プラン図)で、階選択で小屋裏を表示し、塔屋の間取りを入力します。

詳細な入力手順は省略します。詳しくはA's (エース) のマニュアルやヘルプをご覧ください。

- 屋上の入力

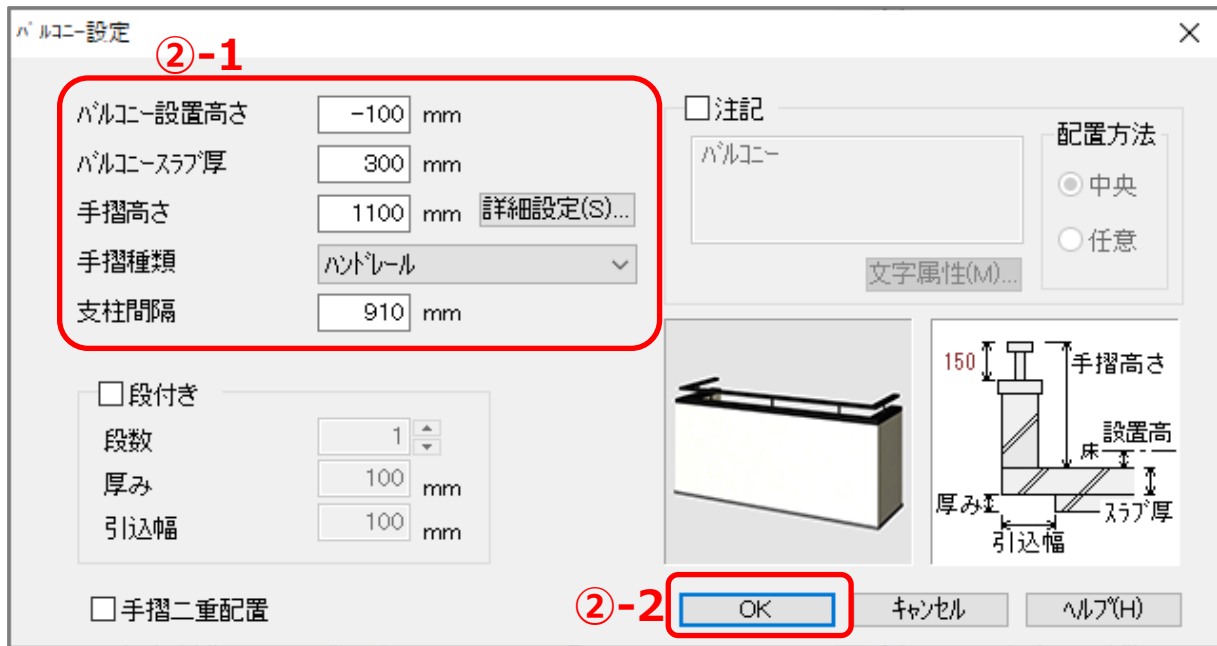
ここでは、屋上をバルコニーで入力します。

①  (付属品)の  (バルコニー)をクリック

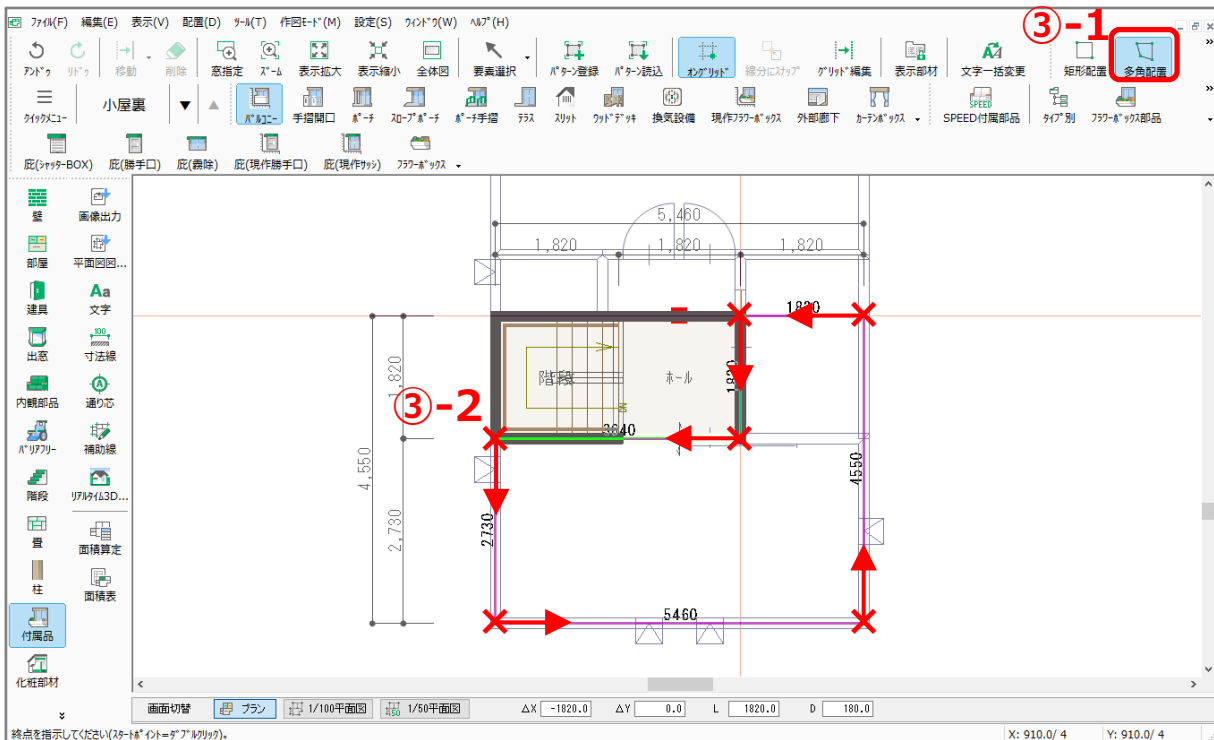
* バルコニーの設定画面が表示されます。

② バルコニーの各項目を設定し、「OK」をクリック

- * ここでは、バルコニー設置高さ「-100」mm、バルコニースラブ厚「300」mm、手摺高さ「1100」mm、手摺種類「ハンドレール」、支柱間隔「910」mmとし、「段付き」「手摺二重配置」「注記」のチェックは外します。



③ (多角配置)をクリックし、屋上の範囲を順にクリック




- * スタートポイントに戻ると、バルコニーが配置されます。
- * スタートポイントの一つ手前の位置でクリック後、ダブルクリックまたは[スペース]キーを押してもかまいません。

- 屋根の入力

屋根伏図の2階で、2階の屋根と塔屋の屋根を入力します。

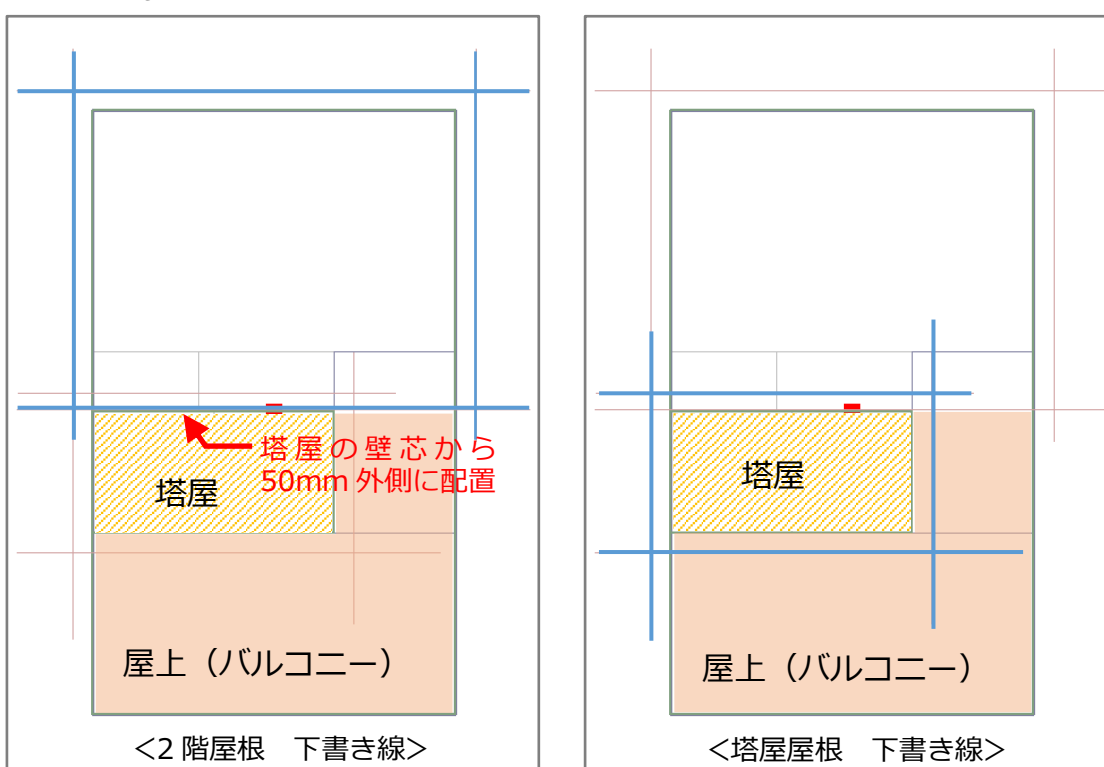
①  (屋根伏図)で2階を表示

②  (下書き線)で屋根の形状を入力




- * 図のように、2階と塔屋の屋根形状を入力します。

- * ここでは、軒の出、ケラバの出ともに300mmとします。2階の屋根が塔屋に接する部分は、下書き線を塔屋の壁芯から50mm外側に配置します。

- * 詳細な入力手順は省略します。詳しくはA's (エース) のマニュアルやヘルプ、屋根作成に関するFAQをご覧ください。





- * 分かりやすいように、2階屋根の下書き線と塔屋屋根の下書き線を別々に表示しています。

③  (面作成)の  (屋根面)で、 (矩形配置)をクリック

④ 操作②で配置した下書き線に沿って屋根面を入力

- * 2階の屋根と塔屋の屋根は、一部重ねて配置します。

- * グレーの屋根面が配置されます。

⑤  (面設定)をクリックし、画面上部にある  (面設定)をクリック

- * 面設定の画面が表示されます。

⑥ 2階の屋根の高さ、勾配、屋根属性を設定し、屋根を作成

- * ここでは、軒基準「0」mm、勾配「10/100」、屋根属性「カラー鉄板」とし、桁の位置で基準点をとります。

⑦ 塔屋の屋根の高さ、勾配、屋根属性を設定し、屋根を作成

- * ここでは、軒基準「2100」mm、勾配「10/100」、屋根属性「カラー鉄板」とし、塔屋の桁の位置で基準点をとります。

● 3D パースで確認

(3D パース)で確認します。


- * 不要な面などが屋根と屋根の間に生成される場合があります。気になる場合は非表示などの調整を行ってください。



操作手順：階数を増やして入力する方法

基本的な操作手順は、小屋裏に入力する方法と同様です。

- 建物階数の設定

①  (クイックメニュー)またはメインメニューから  (物件概要)をクリック

② 建物階数で地上階を「3」に設定し、「OK」をクリック



物件概要 基本情報 1/4

施主名 西泉 太郎 建築主現郵便番号 921 - 8043

フリガナ ニシズミ タロウ 建築主現住所 石川県金沢市西泉4-60

プラン名 PLAN059 3階 建築主電話番号

営業担当 中村 徹 コメント

設計担当 中村 美恵子

工法 在来

目標基準 長期優良住宅基準 (S) 設定(S)...

建物階数 **2-1**

地上階 3 中間階 小屋裏

地下階 0 参照階(K)...

建物タイプ 木造根太レス仕様

床高・天井高 木造根太レス仕様

軒高 木造一般仕様

リフォーム機能を有効にする


既存図と計画図の2つのプランを管理することができます。

既存図を参考にしながら、計画図を作成することができます。計画図だけでなく、既存図の画像、図面、パースの出力もできます。

< 建物高さ 計画概要 > **2-2** OK キャンセル ヘルプ(H)

* 設定が反映し、プラン図で3階が入力できるようになります。

- 間取りの入力

 (プラン図)で3階を表示し、塔屋の間取りを入力します。

詳細な入力手順は省略します。詳しくはA's (エース) のマニュアルやヘルプをご覧ください。

- 屋上の入力



ここでは、屋上をバルコニーで入力します。

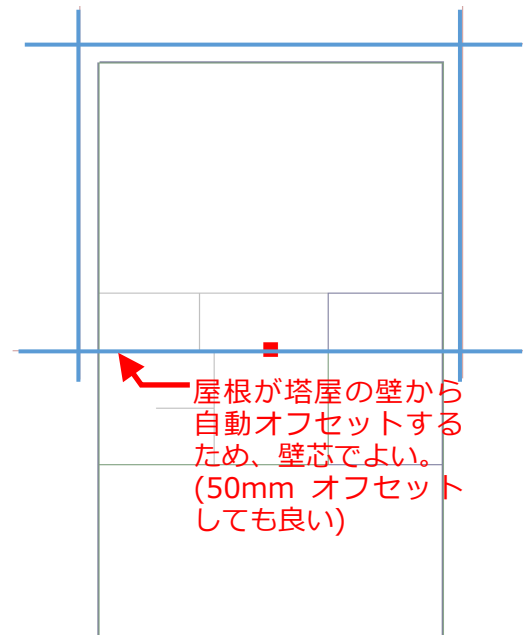
 (プラン図)で3階を表示し、P.2「屋上の入力」を参考に入力してください。




- 屋根の入力

屋根伏図の2階に2階の屋根、屋根伏図の3階に塔屋の屋根を入力します。



①  (屋根伏図)で2階を表示

- ②  (下書き線)で2階の屋根形状を入力
- * 図のように入力します。
 - * ここでは、軒の出、ケラバの出ともに 300mm とします。
 - *  (屋根自動)を使用してもかまいません。
 - * 詳細な入力手順は省略します。詳しくは A's (エース) のマニュアルやヘルプ、屋根作成に関する FAQ をご覧ください。

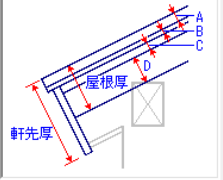


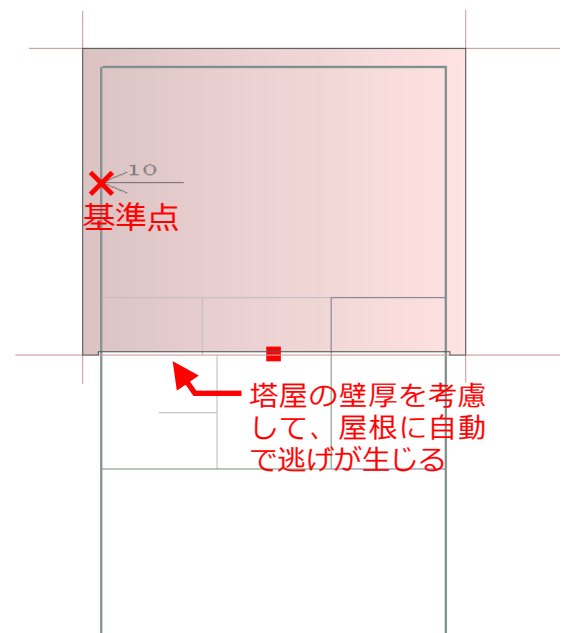
- ③  (面作成)の  (屋根面)で、 (矩形配置)をクリック

- ④ 下書き線に沿って屋根面を入力
- * グレーの屋根面が配置されます。


- ⑤  (面設定)をクリックし、画面上部にある  (面設定)をクリック
- * 面設定の画面が表示されます。


- ⑥ 2階の屋根の高さ、勾配、屋根属性を設定し、屋根を作成
- * ここでは、軒基準「0」mm、勾配「10/100」、屋根属性「カラー鉄板」とし、桁の位置で基準点をとります。

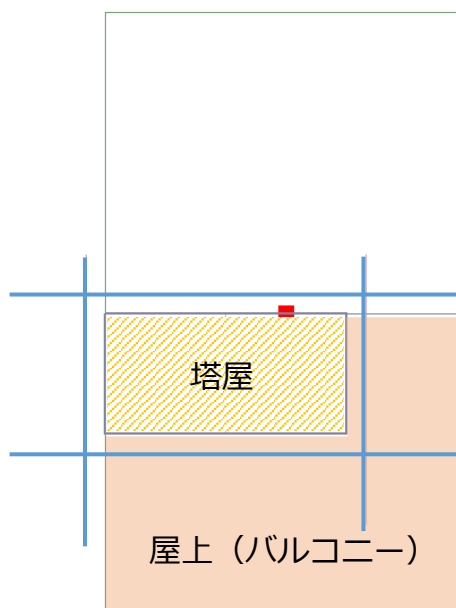
面設定	
GL基準	6460 mm
軒基準	0 mm
勾配	10 /100
カラー鉄板, 92, 212	追加(A)... 変更(C)... 削除(D)
屋根属性	カラー鉄板
軒先厚	212 mm
屋根厚 (A+B+C+D)	92 mm
A: 仕上厚	20 mm
B: 野地板厚	12 mm
C: 他地下厚合計	0 mm
D: 垂木高さ	60 mm
	
<input type="checkbox"/> 大屋根	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="ヘルプ(H)"/>	






⑦ 3階を表示

⑧  (下書き線)で3階の屋根形状を入力



- * 図のように入力します。
- * ここでは、軒の出、ケラバの出ともに 300mm とします。
- *  (屋根自動)を使用してもかまいません。
- * 詳細な入力手順は省略します。詳しくはA's (エース)のマニュアルやヘルプ、屋根作成に関するFAQをご覧ください。



⑨  (面作成)の  (屋根面)で、 (矩形配置)をクリック

⑩ 下書き線に沿って屋根面を入力

- * グレーの屋根面が配置されます。

⑪  (面設定)をクリックし、画面上部にある  (面設定)をクリック

- * 面設定の画面が表示されます。

⑫ 3階の屋根の高さ、勾配、屋根属性を設定し、屋根を作成

- * ここでは、軒基準「-700」mm、勾配「10/100」、屋根属性「カラー鉄板」とし、塔屋の桁の位置で基準点をとります。

面設定

GL基準 mm

軒基準 mm

勾配 /100

カラー鉄板, 92, 212

屋根属性 カラー鉄板

軒先厚 mm

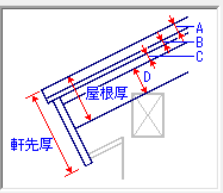
屋根厚 (A+B+C+D) mm

A: 仕上厚 mm

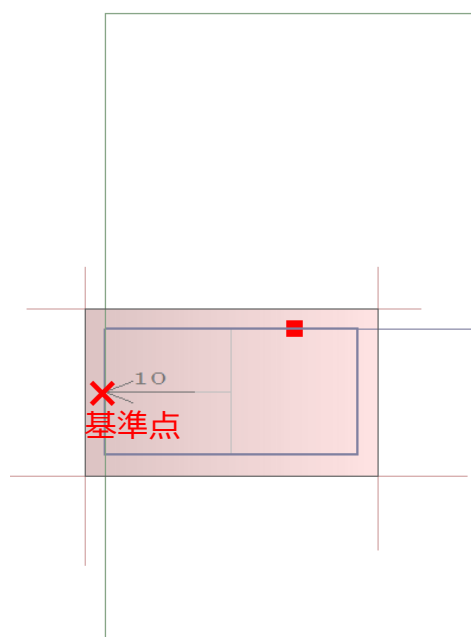
B: 野地板厚 mm

C: 他下地厚合計 mm


D: 垂木高さ mm



大屋根



- 3D パースで確認

 (3D パース)で確認します。



【参考】

ここでは、プラン図でバルコニーを配置して屋上を表現しましたが、屋根伏図でパラペットを配置して表現する方法もあります。

詳しくはこちらをご覧ください。

[\[1223\] 屋上を作成する方法](#)